

★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆  
♪ジョイコン NEWS♪  
第62号(2023年10月)  
★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

前回のジョイフルコンサートではYOUテレビ(ケーブルテレビ)の取材がありました。大倉山ジョイフルコンサートを紹介する「地域情報番組」を制作するためです。

収録内容は3分ほどに編集されて9月25日(月)~10月1日(日)の一週間(延べ35回)放映されています。ご覧になった方もいらっしゃるのではないのでしょうか?さらに多くの方に大倉山ジョイフルコンサートを知っていただけますと嬉しいです。

それでは、「♪ジョイコン NEWS♪」(第62号)をお届け致します。

\*\*\*\*\*  
【もくじ】

- 【1】次回コンサートのご案内
  - ◆第65回コンサート
- 【2】今後の予定(先取り情報)
  - ◆第66回コンサート
  - ◆第67回コンサート
- 【3】次回は「ピアノ五重奏」
- 【4】コンサートのアンケートから

\*\*\*\*\*  
【1】次回コンサートのご案内(予約受付中)

- ★☆☆第65回コンサート☆☆☆  
◇2023年11月18日(土曜日)14時開演(日程変更にご注意下さい)  
◇出演:篠原悠那(ヴァイオリン)、冨永悠紀子(ヴィオラ)、荒井結(チェロ)、岡本潤(コントラバス)、青島周平(ピアノ)  
◇プログラム(予定)
  - ◆ヴォーン・ウィリアムズ:ピアノ五重奏曲 ハ短調
  - ◆シューベルト:ピアノ五重奏曲 イ長調 D667「鱒」ほか  
◇料金:大人2,000円、高校生以下1,000円  
◇会場:横浜市港北公会堂(東急東横線 大倉山駅より徒歩7分)

第65回ジョイフルコンサートは、『珠玉の室内楽~清々しく綾なす響き シューベルトの「鱒」を聴く』と題して、お届けします。

\*\*\*\*\*  
篠原悠那さんからメッセージが届いています  
\*\*\*\*\*  
演奏機会の少ない隠れた名曲 イギリスの作曲家ヴォーン・ウィリアムズの五重奏、「鱒」の歌曲でも有名なオーストリアの作曲家シューベルトのピアノ五重奏、それぞれの違った魅力をお楽しみいただければ嬉しいです。

尊敬する音楽家の皆様との共演も大変楽しみです。皆様のお越しをお待ちいたしております。(篠原悠那)

\*\*\*\*\*  
☆ヴォーン・ウィリアムズ:ピアノ五重奏曲 ハ短調

○ヴォーン・ウィリアムズ

ヴォーン・ウィリアムズはイギリスの作曲家です。父は牧師でしたが、ヴォーン・ウィリアムズが幼い頃に亡くなってしまいます。母の曾祖父はウェッジウッドの創業者でした。

ダーウィンも遠い親戚になります。

名家の生まれなんですね。

始めは叔母からピアノと作曲を教わり、それからヴァイオリンを習うようになって音楽を専門に勉強するようになります。それだけではなく、ケンブリッジで歴史学も専攻しているそうで、素晴らしく優秀ですね。

作曲家仲間として、ホルストと知り合いお互いの作曲中の曲を建設的に批判し合うようになり、切磋琢磨していきました。

パリで3か月ラヴェルに師事して、作曲を習い管弦楽の扱いが飛躍的に進歩しました。しかしラヴェルには「唯一ラヴェルっぽい音楽を作らなかった弟子」と言われたそうです。面白いですね。

その後イングランド各地の民謡やキャロルを、各地方を回って調べ自分の曲の中に取り入れていき、独自のイギリス音楽を確立したと言われていました。その功績をたたえて、ヴォーン・ウィリアムズが会長を務めた英国民族舞踏民謡協会によって「ヴォーン・ウィリアムズ記念図書館」が建てられました。

第一次世界大戦の時、すでに41歳だったので、兵役は免除になっていたにも関わらず、自ら志願して、王立陸軍医療軍団に入ります。そこで担架で傷ついた兵士を運ぶ任務を行いました。大変悲惨な状況を目にしていたことは、想像できますね。その時の爆撃音のために、晩年ヴォーン・ウィリアムズは難聴になってしまったと言われています。

戦後書いた曲の1曲は「田園交響曲」(交響曲第3番)で、この曲の第2楽章で聴かれるトランペットのカデンツァは、彼が義勇兵として衛生隊にいた頃にラッパ手が間違っただけの音程を繰り返し吹いていたのを聴いた記憶を元に、交響曲にそれとなく引用したものだそうです。

#### ○ピアノ五重奏曲 ハ短調

シューベルトの「鱒」のオマージュとして書かれたという説があります。編成はピアノ、ヴァイオリン1、ヴィオラ1、チェロ1、コントラバス1で演奏されます。

一般的にピアノ五重奏はピアノ1台に弦楽器4本で弦楽器の表現の幅が大きくなってしまい、音のバランスをとるのが難しい編成です。

ヴォーン・ウィリアムズのピアノ五重奏曲は

1. Allegro con fuoco
2. Andante
3. Fantasia (quasi variazioni)

の3楽章からなり、1楽章のセンセーショナルな悲劇的な印象で始まります。2楽章はとても優美で、ブラームスを思い起こさせる深みを持っていると評価されています。3楽章はとても華やかに展開していく変奏曲です。

深まる秋にぴったりの曲です。  
お楽しみになさってください。(A.N)

#### ■予約申し込みはこちら

ホームページ：<https://www.ohkurayama-joycon.com/>  
予約専用電話：080-8424-5108

\*\*\*\*\*

【2】今後の予定(先取り情報)

★★第66回コンサート★★

◇2024年1月21日(日)

◇出演：レグルス・クアルテット(弦楽四重奏)

⇒公会堂設備の改修工事のため中止(2024年度へ延期)

★★第67回コンサート★★

◇2024年3月17日(日曜日) 14時開演

◇出演：藤原晶世(ヴァイオリン)、藤原秀章(チェロ)、開原由紀乃(ピアノ)

◇プログラム(予定)

◆ピアソラ：ブエノスアイレスの四季より「春」

◆ベートーヴェン：ヴァイオリンソナタ第5番《春》

◆メンデルスゾーン：無言歌集 第5巻より「春の歌」

◆ラヴェル：ピアノ三重奏

ほか

◇予約受付開始：2024年1月22日(月曜日) 午前9時より

★プログラム等詳細は順次、本紙面、ウェブサイト、チラシ等でお知らせします。

\*\*\*\*\*

【3】次回は「ピアノ五重奏」

ピアノ五重奏は、ピアノと弦楽器4種、ピアノと管楽器4種などで構成される室内楽です。

弦楽器4種の編成では、「第一ヴァイオリン、第二ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ」の場合、「ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス」の場合があります。

管楽器4種の編成では、「オーボエ、クラリネット、ファゴット、ホルン」「フルート、クラリネット、ファゴット、ホルン」「フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット」などの例があります。

次回の演奏会では、コントラバスが入る楽器編成です。

この編成での作品は、主に18～19世紀前半に作曲されています。その後、コントラバスを外した編成に多くの作曲家が移行しています。

コントラバスが入らない編成になっていく背景には、弦楽四重奏と同じ編成であり、その響きやバランスが良く作曲家に好まれたものと思われる。

別の理由として、当時のピアノ(フォルテピアノ)の音量が小さく、低音域を補強するためにコントラバスが必要であったが、19世紀後半になると、ピアノが改良され音量や音域が増大し、コントラバスが不要になったという見方もあります。

1709年にイタリアのクリストフォリによって発明された当時のピアノは54鍵ですが、それから少しずつ鍵盤数が増えていき、1890年代には現在と同じ88鍵になっています。

さて、コントラバスの入ったピアノ五重奏曲ではシューベルト(1797-1828)の「鱒」が飛びきり有名ですが、それ以外にも少ないですが何曲かあります。

ネットで探して聴いてみるのは如何でしょう。

- ・フンメル(Johann N. Hummel, 1778-1837) ピアノ五重奏曲 変ホ短調 op. 87
- ・ファラン(Louise Farrenc, 1804-1875) ピアノ五重奏曲 第1番 Op30
- ・ファラン(Louise Farrenc, 1804-1875) ピアノ五重奏曲 第2番 Op31
- ・ゲッツ(Hermann Gustav Goetz, 1840-1876) ピアノ五重奏曲 ハ短調 Op. 16
- ・ヴォーン・ウィリアムズ(Ralph Vaughan Williams, 1872-1958) ピアノ五重奏曲 ハ短調

次回プログラムは、有名な「鱒」と隠れた名曲ヴォーン・ウィリアムズです。どうぞご期待ください。(でくのぼう)

\*\*\*\*\*

【4】コンサートのアンケートから

前回のジョイフルコンサート(9月17日公演)『石井希衣フルート・リサイタル』は如何でしたか？

「Web アンケート」には、演奏のご感想や運営について、今後のご希望など貴重かつ熱心なコメントを頂きました。今回もその一部をご紹介します。

アンケートでの質問「今回のコンサート内容はいかがでしたか？（５段階評価）」に対し、「大変良かった」側の「５」が６７％、「４」が２７％、「３」が６％でした。

自由記入欄の「演奏のご感想」では、

『音楽家さんの演奏したいプログラムで構成そして素晴らしい演奏、もっと多くの人に聞いてほしい素晴らしいリサイタルでした』『今回の曲は初めて聴いた曲ばかりだったが、選曲・演奏に満足した』『初めて聴く曲ばかりで、少し戸惑いましたが、演奏者さんの聞きどころ解説のお話があったので、楽しめました。特に、アール・ヌーヴォーのアジアのフランスでの影響というのが、絵画の方は何となく知っていましたが、音楽の方は、全く知りませんでしたので、ビックリしました』『本場(フランス)の曲を沢山聴けて良かった、初めての作曲家も聴けて奥深さを認識した』などのご感想が寄せられました。

一方、『現代音楽はやはり苦手だと思った』『今回のコンサートは少し短く感じました』とのコメントもありました。

「運営について」では、

『ボランティアが運営そして地元の商店街が協賛で素晴らしい。そして、素晴らしい二人の音楽家に感謝』『このように素晴らしいアーティストを、2,000円で聴くことができることは、大変ありがたいです』『介護や日々の生活のスイッチで、いつも楽しませていただいています。今後も続けていただきたいです』などのコメントが寄せられました。

頂いたご意見やご提案も参考にしながら運営の改善をして参ります。

アンケート回収数:15 (回収率 11%)

\*\*\*\*\*

#### 【編集後記】

前回 9 月 17 日の大倉山ジョイフルコンサートは石井希衣さんのフルトリサイタルでした。石井さんがとてもものびやかに踊るようにフルートを演奏されていて、その姿がとても素敵で印象的でした。いつ息をしているのかと思うほどですし、リズムも大変難しい曲だったそうですが、フルートの涼やかな音と岡本知也さんの優しいピアノの音がとても心地よいと思って聴いていました。

いつも素敵な演奏をしてくださる、演奏者の方達には感謝の気持ちでいっぱいです。  
(A. N.)

\*\*\*\*\*

※このメールマガジンは、大倉山ジョイフルコンサートのウェブサイト等からご希望された方に配信しております。

※第 66 回コンサート（2024 年 1 月 21 日）は、中止・延期となるため、次号のメールマガジンは 2024 年 2 月に配信予定です。

#### ■次回予約申し込みはこちら

ホームページ：<https://www.ohkurayama-joycon.com/>

予約専用電話：080-8424-5108

#### ■バックナンバー

メールマガジンのバックナンバー（PDF ファイル）はこちら

ホームページ：<https://www.ohkurayama-joycon.com/>

#### ■配信停止／アドレス変更

メールマガジンの登録、配信停止、アドレス変更はこちら

<mailto:info@ohkurayama-joycon.com>

発行：大倉山ジョイフルコンサート実行委員会

Eメール <mailto:info@ohkurayama-joycon.com>

携帯電話 080-8424-5108

URL <https://www.ohkurayama-joycon.com/>